

第11回「勇気ある経営大賞」受賞企業一覧

《大 賞》

会社名 (本社所在地)	株式会社内野製作所		(東京都八王子市)	代表者	内野 徳昭 氏
事業概要	製造業	精密歯車製造業			
創業	昭和 2 年	資本金	1,000 万円	従業員	63 名
表彰の ポイント	<p>◆織物機械の修理から工作機械の歯車製造に転換した同社は、歯車試作のトップメーカーになることを決意し、取引先として1社依存だった体質を転換する。従業員の意識や様々な社内体制を変革して、徹底した差別化・高精度化を目指した結果、他社の追随を許さない付加価値の高い歯車の製造に成功し、新たな歯車試作のビジネスモデルを確立したこと。</p> <p>◆歯車試作のトップメーカーになるために、リーマンショックや震災後でも年間売上高の半分に相当する最新工作機器を導入するなど、顧客の要請に応える体制を確立。殆どの国内自動車メーカーと取引を果たし、卓越した技術力を駆使して歯車試作メーカーとしてさらなる飛躍を目指していること。</p>				

《優秀賞》

会社名 (本社所在地)	カネパッケージ株式会社		(埼玉県入間市) 都内拠点: 青梅市	代表者	金坂 良一 氏
事業概要	製造業	各種緩衝材・設計・試験・製造・販売			
創業	昭和 51 年	資本金	5,000 万円	従業員	41 名
表彰の ポイント	<p>◆大手精密電子部品メーカーの海外生産の加速を受け、国内需要が減少する中、海外進出を即決。フィリピン工場の設立経験を糧に現地の人材育成・活用を積極的に進めた結果、14もの海外子会社などの拠点の立ち上げに成功し、ASEAN内におけるグローバル展開を図ったこと。</p> <p>◆「使ったあと廃棄されるゴミ」という梱包材のイメージを払拭するため、社内の反対を押し切りフィリピンでのマングローブ植林に着手。成功体験の社内共有化による人材育成と、ステークホルダーの共感を生み、未来の継続成長に向けた挑戦を継続していること。</p>				
会社名 (本社所在地)	株式会社西尾硝子鏡工業所		(東京都大田区)	代表者	西尾 智之 氏
事業概要	建設業	商業施設で使用されるショーケースなどのガラス加工・施工業務			
創業	昭和 7 年	資本金	1,000 万円	従業員	23 名
表彰の ポイント	<p>◆リーマンショック後の経営難を打破すべく、海外有名ブランド向けショーケースの受注に挑戦。社員一丸となった取り組みにより、45度傾斜のガラス接着技術の開発に成功。匠の技とアナログ的感性によって、他社では手掛けることが難しい高付加価値商品を生み出し、高級ブランドからの特注を可能としたことで大きな貢献を果たしていること。</p> <p>◆主力の内装分野にとどまらず、太陽熱発電用の屋外用ミラーの開発を断行した結果、業界初となるアブダビ首長国への大量納入を実現。一中小企業の枠を超えた新分野への進出と、鏡の腐食防止処理技術の駆使により、再生可能エネルギー分野への貢献が期待されること。</p>				

会社名 (本社所在地)	日進精機株式会社	(東京都大田区)	代表者	伊藤 敬生 氏
事業概要	製造業	金属プレス金型及びプレス加工、CNC パイプバンダー他製造販売		
創業	昭和 32 年	資本金	8,475 万円	従業員 96 名
表彰の ポイント	<p>◆自社特許製品の三次元自由自在にパイプを曲げられる CNC パイプバンダーの需要減退を受け、ヨーロッパ市場への進出に踏み出すべく、ドイツに自社技術者を派遣。ドイツ企業によるライセンス生産により、自動車等の工業製品の軽量化、低コスト化に大きな貢献を果たしたこと。</p> <p>◆大手部品供給先の海外進出を受け、海外展開を決断。品質管理面で困難が伴うプレス金型による金属部品の加工に関し、平成7年のタイを皮切りに、フィリピン、中国無錫および深センでの工場の操業に成功。他の追従を許さない高い技術力を武器に、現地日系企業の生産に大きく貢献し、今日の事業基盤を構築したこと。</p>			
会社名 (本社所在地)	株式会社ミノダ	(東京都千代田区)	代表者	箕田 順一 氏
事業概要	製造業	キャラクター商品企画製造、ワッペン等刺繍加工、通販サイト運営		
創業	昭和 39 年	資本金	3,000 万円	従業員 6 名
表彰の ポイント	<p>◆縮小の一途を辿る業界において打開策を探るべく、7年前に自社デザインの商品開発に挑戦。在庫リスクを抱えながらも粘り強い挑戦を続け、数多くのヒット商品の開発に成功。下請けからの脱却の実現と、多品種少量生産における生き残りの道を切り拓いたこと。</p> <p>◆刺繍ワッペンのパイオニアを目指し、膨大な資金と時間を要するキャラクタービジネスに挑戦。蓄積した技術力を武器に、ディズニーやサンリオなど、数多くの有名キャラクターのライセンス取得に成功し、業界における先進的事例を築き上げたこと。</p>			
会社名 (本社所在地)	株式会社ユニパック	(埼玉県川口市) 都内拠点:千代田区	代表者	松江 昭彦 氏
事業概要	建設業	フィルタ製造販売、管工事業、電気工事業、空調設備の保守		
創業	平成 2 年	資本金	5,000 万円	従業員 15 名
表彰の ポイント	<p>◆使い捨てが常識の空調中性能フィルターを、洗浄・再利用する技術の開発に成功し、省エネと廃棄物削減に大きく貢献した。中性能フィルターの洗浄は、大手メーカーでも開発が難しく困難であったが、高い空調技術を有する同社は、これを飛躍できる千載一遇のチャンスと捉えて対応。洗浄したフィルターの低圧力損失化を実現し、大規模商業施設の大幅な省電力・廃棄物削減に成功した。</p> <p>◆照明や冷暖房に比べ、節電対策が遅れていた「空気搬送動力」に注目して、省エネ型の節電メニューを開発。時代のニーズにあった付加価値の高い新たな節電対策として、商業施設だけでなく、工場やクリーンルームなどの製造現場にも普及を目指していること。</p>			

《特別賞》

会社名 (本社所在地)	システム・インストルメント株式会社 (東京都八王子市)		代表者	濱田 和幸 氏
事業概要	製造業	医療、環境、健康、バイオ関連装置の製造・販売		
創業	昭和 47 年	資本金	5,000 万円	従業員 40 名
表彰の ポイント	<p>◆分析機器メーカーとしての技術力を武器に、科学的根拠を取り入れた介護予防全自動トレーニングシステム「リハトレーナー」の自社開発に成功。発展形としてクラウドコンピューティングの利用による情報処理によるアドバイス強化に挑戦するなど、介護予防の貢献に大きな可能性を秘めていること。</p> <p>◆超高齢化社会の進展に伴うデイケアサービスの充実化の必要性を痛感し、リハトレーナーを活用したリハビリ型デイサービスの開設支援を決断。利用者の生活相談や脳科学による新たなリハビリを研究するなど、次世代の介護予防に大きな光を照らしていること</p>			
会社名 (本社所在地)	株式会社清和光学製作所 (東京都中野区)		代表者	岡崎 伊佐央 氏
事業概要	製造業	光学精密機器・装置開発製造		
創業	昭和 22 年	資本金	9,900 万円	従業員 100 名
表彰の ポイント	<p>◆創業以来、顕微鏡製造で培ってきた光学技術をベースに、画像光学や露光装置など、先端産業向けの機器開発を続け、新たに環境・エネルギー分野に進出。北陸地方最大のメガソーラー発電所を設置し、近年の環境ニーズに応えるべく、さらなる事業の創成を続けていること。</p> <p>◆既存事業の再生にも力を注ぎ、顕微鏡のデジタル化や光学パーツのモジュール化、光学検査装置を応用して完成度の高いディスプレイの開発に寄与するなど、発想の転換により既存技術を活かして従来の事業領域を広げながら、宇宙工学や医療への応用など、無限に広がるレンズの新たな可能性を切り開くため、積極的な研究開発やワールドワイドな取り組みを行っていること。</p>			

・従業員数にパート・アルバイトは含まない